

全体を通して(※このホームの優れている点、独自に工夫している点など)		分野・領域	項目数	「できている」項目数 外部評価	
<p>駅から歩いて10分、閑静な住宅地にホームの3ユニット(三棟)が、近所の建物と違和感無く建てられている。室内は木の暖かなぬくもりが感じられ、リビングからは明るい歌声が聞こえていた。経営主体の株式会社アルテディアは、ラテン語で「より高く」という事で、その名のとおり、高い医療福祉の理念を掲げ「自ら受けたいと思う医療と福祉の創造」を管理者も職員も共有し実践している。特に介護計画の策定に当たっては、ケアカンファレンスに家族も参加し、直接話し合っている。家族の約半数は、介護計画に強い関心を持ってケアカンファレンスに参加するようになった。</p>		I 運営理念			
		①	運営理念	4	3
		II 生活空間作り			
		②	家庭的な生活環境づくり	4	4
		③	心身の状態に合わせた生活空間づくり	6	6
		III ケアサービス			
		④	ケアマネジメント	7	7
		⑤	介護の基本の実行	7	6
		⑥	日常生活行為の支援	8	8
		⑦	生活支援	2	2
III ケアサービス	⑧	医療・健康支援	9	8	
	⑨	地域生活	1	1	
	⑩	家族との交流支援	1	1	
IV 運営体制					
IV 運営体制	⑪	内部の運営体制	11	10	
	⑫	情報・相談・苦情	1	0	
	⑬	ホームと家族との交流	3	3	
	⑭	ホームと地域との交流	4	3	
分野	特記事項(※優先順位の高い要改善点について)				
I 運営理念	認知症ケアの切り札とも言われるグループホームが、どんな理念で運用されているのか、地域への情報発信は充分とは言えない。地域密着型サービス事業所に指定されたのを機に「ホーム便り」の充実や、義務づけられた運営推進会議の公表等を通して地域への運営理念の一層の啓発をお願いしたい。				
II 生活空間作り	要改善点は特に無し(現状の維持、そしてさらなる充実を期待する)入居者の居室を家族や本人の了解を得て見せて頂いたが、ベット、整理ダンス、ちゃぶ台、時計、暦、テレビ、位牌など馴染みの物に囲まれ、女性らしいこまやかな飾りなども見られ安らぎの場になっていた。				
III ケアサービス	近い将来想定される宮城沖地震や火災など、緊急時の避難等のきめこまかなマニュアルはあるが、夜勤の1人勤務の時に発生しても、全職員が冷静に対応出来るか不安がある。夜間を想定した避難訓練等も定期的に且つ継続してお願いしたい。				
IV 運営体制	グループホームは、地域密着型サービス事業所として、在宅の認知症ケアの地域の拠点として期待される。運営推進会議等を通して、行政との情報の交流を密にし、よりよいパートナーシップを築いて頂きたい。相談や苦情は、サービスの質の向上にとって、貴重な情報であると言われていた。入居者や家族が気軽に相談や苦情の声が掛けられるように、繰り返しお話しすると共に、話し易い第三者委員の明示や周知もお願いしたい。				

2. 評価報告書

項目番号	項目	できて いる	要 改善	評価 不能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
	I 運営理念 1. 運営理念の明確化					
1	1 ○理念の具体化及び運営理念の共有 管理者は、認知症高齢者グループホーム(以下「グループホーム」という。)に関わる法令の意義を理解しており、これを自らが所属するグループホーム(以下「ホーム」という。)の運営上の方針や目標等に具体化し、介護従業者に日常的に話している。	○			アルテディア(ラテン語でより高く)の会社名の通り、医療・福祉の高い理念を掲げ「自ら受けたいと思う医療と福祉の創造」を、管理者も職員も共有し実践している。	
2	3 ○運営理念の明示 ホームの運営理念を利用案内時の説明文書及びホームの見やすいところに明示し、かつ、入居者及びその家族等に分かりやすく説明している。	○			玄関の見易い位置に掲げている。一寸立ち止まって目を通すには文書が長い様に思う。スローガンのように完結に伝える工夫も必要ではないか。尚、入居者や家族には分かり易く説明している。	
3	4 ○権利・義務の明示 利用者の権利・義務を利用案内時の説明文書及び契約書に分かりやすく示し、かつ、入居者及びその家族等に説明し同意を得ている。	○			入居の時には契約書等に記載されている内容を説明し、費用やサービスの内容等の質問には丁寧に答え同意を得ている。	
	2. 運営理念の啓発					
4	5 ○運営理念の啓発 ホームの運営理念や役割が地域に理解されるよう、地域に対する運営理念の啓発・広報に取り組んでいる。(ホームの説明会、ホーム便り等)		○		地域への情報の発信は充分とは言えない。今年度から地域密着型サービス事業所として指定されたのを機会に、より地域に開かれたホームとして認知される様一層の努力をお願いしたい。	ホーム便りの充実や運営推進会議の議事録の公表を通して、地域にホームの理念の啓発をお願いしたい。
	運営理念 4項目中 計	3	1	0		
	II 生活空間づくり 1. 家庭的な生活空間づくり					
5	6 ○気軽に入れる玄関まわり等の配慮 違和感や威圧感を感じさせず、入居者や家族が入りやすく、近隣の住民も訪ねやすいよう、玄関まわりや建物の周囲に、家庭的な雰囲気づくりの配慮をしている。(玄関まわりに草花を植える、親しみやすい表札をかける等)	○			ホーム全体が近所の住宅地とけこんで違和感が無い。玄関の周囲には草花やプランターなどもあり、普通の家の雰囲気である。唯玄関に表札が無かったので、民芸風の親しみやすい表札などがあればなおよいと思う。(通りには綺麗な看板はあった。)	
6	7 ○家庭的な共用空間づくり 共用の生活空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、いずれも家庭的な雰囲気を有しており、調度や設備、物品や装飾も家庭的である。	○			入居者の作った作品など身近で親しみやすい物や、カレンダー、時計、一足早いクリスマスツリーなど普通の家庭で見られる風景があった。	

項目番号		項目	できて いる	要 改善	評価 不能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
7	8	○共用空間における居場所の確保 共用空間の中に、入居者が一人になったり気のあった入居者同士で自由に過ごせるような居場所を確保している。	○			時には皆と少し距離を置いたり、入居者同士や入居者と職員が語りあって馴染みの関係を深めたりする、少人数の語らいの場(セミプライベートゾーン)として廊下のソファ等を、有効に活用して頂きたい。	
8	9	○入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり 居室には、使い慣れた家具や生活用品、装飾品等が持ち込まれ、安心して過ごせる場所となっている。	○			入居者の居室を、本人の了解を得て見せて頂いたが、ベット、整理タンス、ちゃぶ台、位牌、テレビ等馴染みの物で安らぎの空間があった。	
家庭的な生活環境づくり 4項目中 計			4	0	0		
2. 心身の状態にあわせた生活空間づくり							
9	11	○身体機能の低下を補う配慮 入居者の身体機能の低下にあわせて、安全かつできるだけ自立した生活を送れるようにするための設備や工夫がある。(すべり止めや要所への手すり等の設置、浴槽・便座・流し台等の使い勝手の工夫、物干し等の高さの調節等)	○			身体機能が低下してきても、自立した生活が出来るだけ安全に送れる様に、要所要所に手すりをつけたり、脱衣所や浴室等に滑り止めなど工夫がされている。	
10	13	○場所間違い等の防止策 職員は、入居者一人ひとりがホーム内の場所が分かるかを把握しており、家庭的な雰囲気をおこさず、場所の間違いや分からないことでの混乱を防ぐための工夫をこらしている。(トイレや部屋の目印等)	○			個室、トイレ、浴室等、それぞれ表札や表示があり今は間違える事は無い。これからのことを考え、目線や文字の大きさ、トイレのシンボルマーク等の工夫が望まれる。尚、夜トイレの照明を点けている事は入居者の良い目印になると思う。	
11	14	○音の大きさや光の強さに対する配慮 入居者が落ち着いて暮らせるように、音の大きさや光の強さに配慮している。(テレビ、職員の会話のトーン、照明の強度、まぶしさ、日射し等)	○			職員の会話のトーンやTVの音の大きさは、特に不自然さは感じられなかった。居間は日当たりがよくカーテン等で遮るなどしていた。	
12	15	○換気・空調の配慮 気になる臭いや空気のだよみがないように、換気を適宜行っている。また、冷暖房の温度調節は、冷やし過ぎや暖め過ぎがないように適切に行っている。	○			換気を行っており気になる臭いや、空気のだよみのようなものは感じられなかった。冷暖房は職員が調整している。	
13	17	○時の見当識への配慮 見やすく、馴染みやすい時計や暦を、目につくところに設置している。	○			皆で作った独自のカレンダー、時計等見易い場所にあった。尚、カレンダーの旧暦での行事等も話題にし、昔の生活を一緒に話し合ったり見当識への刺激等に活用して頂きたい。	
14	18	○活動意欲を触発する物品の用意 入居者の活動意欲を触発する馴染みの物品を用意し、本人の経験や状況に応じて提供している。(ほうき、たらい、裁縫道具、大工道具、園芸用品、趣味の品等)	○			入居者の持っている活動意欲を触発するものや、潜在能力を引き出す為の道具だてはしているが、各職員の持っているいろいろな情報を整理し、共有し上手に活用して頂きたい。	
心身の状態にあわせた生活空間づくり 6項目中 計			6	0	0		

項目番号		項目	できて いる	要 改善	評価 不能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		Ⅲ ケアサービス 1. ケアマネジメント					
15	20	○個別具体的な介護計画 アセスメントに基づいて、入居者主体の目標を立て、入居者一人ひとりの特徴を踏まえた具体的な介護計画を作成している。	○			個別具体的に短期、長期の目標を定め、本人の思いや希望を大切に介護計画であった。	
16	21	○介護計画の職員間での共有 介護計画を、すべての職員の気づきや意見を採り入れて作っており、すべての職員が計画の内容を知ることができる仕組みを作っている。	○			ケアカンファレンスは、担当者の情報を基本としながら、職員皆で気づいたことを話し合っており、介護計画は皆で作成し共有している。	
17	22	○介護計画への入居者・家族の意見の反映 介護計画を、入居者や家族とも相談しながら作成している。	○			家族の持っている情報や思いを、介護計画に直接反映する為に、家族にケアカンファレンスに参加してもらい意見を聞いている。家族も理解を示し約半数の家族が参加し介護計画を理解してきた。	
18	23	○介護計画の見直し 介護計画に実施期間を明示して、その期間が終了する際に見直しを行うことはもとより、状態変化に応じた随時見直しを行っている。	○			定期的には3ヶ月毎に見直しをしている。また状況が変わり急に状態が変わったりした場合は、その都度見直しをしている。	
19	24	○個別の記録 日々の介護や介護計画に反映させるため、入居者一人ひとりの特徴や変化を具体的に記録している。	○			個人の記録は取っている。介護計画を立てるときに必要な、1人ひとりの日常の暮らしの情報が、より整理され共有される様お願いしたい。	
20	25	○確実な申し送り・情報伝達 職員の申し送りや情報伝達を確実にし、重要な点はすべての職員に伝わる仕組みを作っている。	○			引継ぎノートやミーティングノート等を活用し、確実に皆に伝わるようにしている。特に重要な情報は口頭での確認など、注意を喚起するように配慮されている。ノートを見た人はサインをしている。	
21	26	○チームケアのための会議 チームとしてケアを行う上での課題を解決するため、すべての職員で、定期的に(緊急案件がある場合にはその都度)会議を開催し、活発に意見交換を行って合意を図っている。	○			月1回のユニット会議は、大切にしており全員が参加しやすい様に配慮され、皆が自由に発言出来るように進行係は気を使っている。会議はチームケアの基本である事を職員は理解している。	
ケアマネジメント 7項目中 計			7	0	0		

項目番号		項目	できて いる	要 改善	評価 不能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		2. ホーム内でのくらしの支援(1)介護の基本の実行					
22 23	27 28	○入居者一人ひとりの尊重と職員の穏やかな態度 職員の言葉かけや態度はゆったりしており、常に入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応を行っていない。(入居者一人ひとりの違いの尊重、さりげない介助、プライベートな場所での礼儀、本人の返答能力に応じた質問方法、本人が思っている「現実」を否定しない等)	○			「入居者本人はあまり自覚は無いと思いますが、職員の方が何時も優しく接しています。特に言葉使いは気を使って、耳の遠い人には耳の側で分かるようにゆっくり話しかけてくれる。」 (家族アンケートより引用)	
24	30	○入居者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア 入居者一人ひとりの生まれてからこれまでの生活歴、本人にとって大切な経験や出来事を知り、その人らしい暮らしや尊厳を支えるためにそれを活かしている。		○		ケアに生かす情報が充分とは言えない。入居者一人ひとりの過去の経験を含めて、生活歴や手続記憶として残っている記憶など、出来るだけその人になり替わるように、情報を把握し整理し共有しケアに活用して頂きたい。	家族の情報や職員一人ひとりの持っている情報等を、整理し活用し易い様に工夫をお願いしたい。
25	32	○入居者のペースの尊重 職員は、職員側の決まりや都合で業務を進めていく態度ではなく、入居者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるように支えている。	○			「寝ている時はそのままにしてくれ、おやつ時間がくれば自然に起きてくるような扱いが上手です。以前居た施設の時の様に不満を、本人から聞かれなくなりました。」 (家族アンケートより引用)	
26	33	○入居者の自己決定や希望の表出への支援 職員は、入居者一人ひとりが自分で決めたり希望を表したりすることを大切にし、それらを促す取組を日常的に行っている。(選んでもらう場面を作る、選ぶのを待つ等)	○			1人ひとりの日々の生活の中から希望をリサーチしながら、自己決定出来る環境を作るようにしている。特にスペシャルデーとして、入居者が職員と自由に何でも出きるような取り組みもしており、入居者の希望を優先している。	
27	35	○一人でできることへの配慮 自立支援を図るために、入居者の「できること、できそうなこと」については、手や口を極力出さずに見守ったり一緒に行うようにしている。(場面づくり、環境づくり等)	○			「洗濯物のたたみ、食器洗い等本人が出来る事でお手伝いしており、皆の為にしている事を認めて下さっている。お掃除など自分で出きるものは自分でするようにしている。」 (家族アンケートより引用)	
28	37	○身体拘束のないケアの実践 身体拘束は行わないということをすべての職員が正しく認識しており、身体拘束のないケアを実践している。	○			身体拘束は高齢者虐待である事を理解しており、身体拘束はしていない。	
29	38	○鍵をかけない工夫 入居者の自由な暮らしを支え、入居者や家族等に心理的圧迫をもたらさないよう、日中は玄関に鍵をかけなくてもすむような配慮をしている。やむを得ず鍵をかける場合は、その根拠が明白で、その理由を家族に説明している。(外出の察知、外出傾向の把握、近所の理解・協力の促進等)	○			玄関は日中は鍵を掛けていない。特定の入居者であるが、その時の状態により外に出られる方もおられるが、チャイムや見守りで対応している。外に出た場合は同行したりしている。	
介護の基本の実行 7項目中 計			6	1	0		

項目番号		項目	できて いる	要 改善	評価 不能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		(2)日常生活行為の支援 1) 食事					
30	43	○ 馴染みの食器の使用 家庭的な食器を使っており、茶碗や湯呑み、箸等は、入居者一人ひとりが使い慣れたものになっている。	○			入居の際に箸や茶碗を持ってきてもらっている。馴染みの食器は、大きな安心感に繋がると言われている。	
31	44	○ 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 入居者一人ひとりの咀嚼・嚥下等の身体機能や便秘・下痢等の健康状態にあわせた調理方法としつつ、おいしそうな盛り付けの工夫をしている。	○			入居者の状態に合わせ、柔らかくしたり、きざみにしたり、とろみをつけたりして、少しでも美味しく頂ける様努力されている。	
32	45	○ 個別の栄養摂取状況の把握 入居者一人ひとりの摂取カロリーや水分摂取量、栄養バランスを、一日全体を通じておおよそ把握している。	○			今、食のケアマネジメントの大切さが見直され、個別の栄養摂取状況等が記録されている。栄養のバランスやカロリーの把握など、デイサービスの栄養士に相談し、助言指導を受けられるよう話が進んでいる。	
33	47	○ 食事を楽しむことのできる支援 職員も入居者と同じ食事を一緒に楽しんで食べながら、食べ方の混乱や食べこぼし等に対するサポートをさりげなく行っている。	○			入居者は、食事が一番の楽しみであると話してくれた。食事は美味しいと、残すことなく頂いていた。職員はむせたりする人にさりげなくサポートしていた。食後の団欒も大事にして頂きたい。	
		2) 排泄					
34 35	48 50	○ 排泄パターンに応じた個別の排泄支援と排泄時の不安や羞恥心等への配慮 おむつをできる限り使用しないで済むように、入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っており、排泄の誘導・介助や確認、失禁の対応は、不安や羞恥心、プライバシーに配慮して行っている。	○			排泄パターンを把握し、オムツをはずしパットにして、排泄誘導する努力をしていた。自立排泄は生きる意欲や自信の回復に繋がると言われている。	
		3) 入浴					
36	53	○ 入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援 入居者一人ひとりの希望にあわせ、くつろいだ入浴ができるように支援している。(時間帯、長さ、回数等)	○			出来るだけ毎日、希望する時間帯にゆっくり気持ちよく入ってもらえるよう、その人の好きな音楽をBGMにしたり努力をしている。尚、入浴時間の調整は大変だが工夫をお願いしたい。	

項目番号		項目	できて いる	要 改善	評価 不能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
38	57	○プライドを大切にした整容の支援 整容の乱れ、汚れ等に対し、プライドを大切にできなくなりカバーしている。(髭、着衣、履き物、食べこぼし、口の周囲等)	○			そっと声がけをして、汚れ等に対し支援をしている。男性の髭剃りなどは、本人の習慣や希望を尊重し声がけしながら対応している。	
		5) 睡眠・休息					
39	60	○安眠の支援 入居者一人ひとりの睡眠の 패턴を把握し、夜眠れない入居者には、1日の生活リズムづくりを通じた安眠策を取っている。	○			睡眠パターンを把握して、日中の過ごしかたに注意をしている。特定の何人かは、夜安眠の出来ない時もあるが、睡眠剤は出来るだけ使わない様にし、少しでも眠れる様に寄り添ったりしている。日中の生活に支障がある場合は、医師と相談して対応している。	
日常生活行為の支援 8項目中 計			8	0	0		
		(3)生活支援					
40	64	○金銭管理の支援 入居者が自分でお金を持つことの大切さを職員が分かっており、日常の金銭管理を本人が行えるよう、入居者一人ひとりの希望や力量に応じて支援している。	○			自分で管理出来る人はいないが、出来るだけ小遣い程度は使える様に、家族とも相談し支援している。少しでもお金を使えることは自立の一歩だと思う。	
		(4)ホーム内生活拡充支援					
41	66	○ホーム内の役割・楽しみごとの支援 ホーム内で入居者一人ひとりが楽しみごとや出番を見い出せるよう、場面づくり等の支援を行っている。(テレビ番組、週刊誌、園芸、食器洗い、掃除、洗濯物たたみ、小動物の世話、新聞取り等)	○			役割や楽しみ事は生き甲斐にも繋がる。入居者で作っている同好会(カラオケ、園芸、手芸、レクリエーション)がありそれぞれ好きな事で楽しんでおり、職員も一緒になって雰囲気作りをしている。	
生活支援 2項目中 計			2	0	0		
		(5)医療機関の受診等の支援					
42	68	○医療関係者への相談 心身の変化や異常発生時に、気軽に相談できる医療関係者を確保している。(医師、歯科医師、保健師、看護師等)	○			協力医とは密接な連絡を取っており、夜間でも何かあれば相談出来る体制になっている。	
43	73	○早期退院に向けた医療機関との連携 入院した場合、早期退院のための話しあいや協力を医療機関と行っている。	○			本人の為に如何にあればよいかを考えながら、家族や医師とも相談し早期退院に努力をしている。	
44	74	○定期健康診断の支援 年に最低1回は、健康診断や医師の指導を受けられるように支援している。開設間もないホームは、健康診断を受けられる準備や体制を整えている。	○			それぞれ主治医をとおして、年1回は健康診断を受けている。出来るだけ老人保健法による基本検診が受けられる様、家族とも相談して頂きたい。	

項目番号		項目	できて いる	要 改善	評価 不能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		(6)心身の機能回復に向けた支援					
45	76	○身体機能の維持 認知症の人の身体面の機能低下の特徴(筋力低下、平衡感覚の悪化、嚥下機能の低下等)を理解し、買い物や散歩、調理、楽しみごと等の日常生活の中で自然に維持・向上するように取り組んでいる。	○			毎週2回14時～15時にエコロジープロジェクトとして、近所の道路や公園のごみ拾いや清掃、又、リハビリ体操や散歩、家事等生活リハビリとして取り組んでおり、その事で機能の向上した人もいます。	
		(7)入居者同士の交流支援					
46	78	○トラブルへの対応 職員は、入居者同士のけんかやトラブルの原因を把握し、必要な場合にはその解消に努め、当事者や他の入居者に不安や支障を生じさせないようにしている。	○			少人数でも一つの社会であり、人間関係のトラブルのあるのは普通である。トラブルのマイナス面のみを考えるのではなく、その事によって人間関係の相性や、力関係なども把握できる。トラブルは大事にならない様上手に対応している。	
		(8)健康管理					
47	80	○口腔内の清潔保持 入居者の力を引き出しながら、口の中の汚れや臭いが生じないように、口腔の清潔を日常的に支援している。(歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援、出血や炎症のチェック等)	○			毎食後何らかの口腔ケアを実施している。これからは口腔ケアの重要性を再認識し、口腔の個別ケアを充実して頂きたい。	
48	83	○服薬の支援 職員は、入居者が使用する薬の目的や副作用、用法や用量を承知しており、入居者一人ひとりが医師の指示どおりに服薬できるよう支援し、症状の変化を確認している。	○			殆どの方が服薬をしている。誤って服薬しない様、分ける人、チェックする人、渡す人、飲んだ事を確認する人、複数の方が責任を持って対応している。薬が変わったり量が変わった時は症状の変化などに注意している。	
49	85	○緊急時の手当 入居者のけが等の緊急時に、職員は応急手当を行うことができる。(けが、骨折、発作、のど詰まり等)		○		緊急時のマニュアルはあるが、夜勤の1人勤務でも適切な初期処置を全職員が出来るか、心配がある。	定期的に継続して、勉強会や実践に近い研修など工夫してお願いしたい。
50	86	○感染症対策 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA等)	○			マニュアルもあり、基本に従って実行している。インフルエンザの予防注射は、入居者も職員も全員実施した。	
医療・健康支援 9項目中 計			8	1	0		

項目番号		項目	できている	要改善	評価不能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		3. 入居者の地域での生活の支援					
51	90	○ホームに閉じこもらない生活の支援 入居者が、ホームの中だけで過ごさずに、積極的に近所に出かけて楽しめるような雰囲気を作っている。(買い物、散歩、近隣訪問、集会参加等)	○			「行事や外出が多く楽しんでいる様です。面会に行った時、散歩や買物等で外出している事が多い。」 (家族アンケートより引用)	
地域生活 1項目中 計			1	0	0		
		4. 入居者と家族との交流支援					
52	94	○家族の訪問支援 家族が気軽に訪問でき、訪問時は居心地よく過ごせるような雰囲気を作っている。(来やすい雰囲気、歓迎、関係再構築の支援、湯茶の自由利用、居室への宿泊のしやすさ等)	○			「笑顔で対応してくれ、お茶を入れてくれたりして居心地がよい。何時でも暖かく迎えて頂き、お茶やお菓子で接待して頂き恐縮しています。」 (家族アンケートより引用)	
家族との交流支援 1項目中 計			1	0	0		
		IV 運営体制 1. 事業の統合性					
53	96	○責任者の協働 法人代表者及び管理者は、ケアサービスの質の向上に熱意を持ち、それぞれの権限や責任をふまえて、共に取り組んでいる。	○			経営者は経営哲学として、社名にもある用に志を持っており、それぞれの立場を尊重し、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。	
54	97	○職員の意見の反映 介護従業者の採用、運営方法、入居者の受入れや入居継続の可否については、職員の意見を聞いている。	○			チームケアをよく理解し、職員の話に耳を傾けている。職員の増員などもその一例である。	
		2. 職員の確保・育成					
55	101	○入居者の状態に応じた職員の確保 入居者の状態や生活の流れを支援するために、これに即した職員の勤務ローテーションを組んでいる。	○			4月から夜勤体制が義務づけられたが、入居者の生活支援の業務中心にローテーションを組んでいる。	
56	103	○継続的な研修の受講 職員が、採用時、フォローアップ等それぞれの段階に応じた研修を受講し、その内容をすべての職員に周知している。	○			研修は基準省令でも義務条項である。職員の資質の向上は、ケアの質の向上の基本である事を理解し、新人研修からフォローアップ研修を含め5段階の研修計画を立て実施している。	
57	105	○ストレスの解消策の実施 職員の業務上の悩みやストレスを解消する方策を採り入れている。(外部者と接する機会、職員相互の親睦、悩みの聴取、スーパーバイザーの導入等)	○			この仕事は対人サービスでストレスの多い職場である。個人個人が趣味等でストレスを溜めないようにしているが、ホームとしても仕事上の悩みをよく聞いたり、1人で悩みを抱え込まない様努力をしている。	

項目番号		項目	できて いる	要 改善	評価 不能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
		3. 入居時及び退居時の対応方針					
58	107	○入居者の決定のための検討 グループホームに適した入居対象者であるか、十分に検討している。(介護保険被保険者証、診断書、入居申請に至る経過、生活や対人関係、入居者・家族の希望等)	○			入居前に本人や家族と面接し、入居者としてふさわしい人である事を確認している。	
59	109	○退居の支援 退居は、契約に基づくとともにその決定過程が明確である。また、入居者や家族に十分な説明を行った上で、納得のいく退居先に移れるように支援している。退居事例がない場合は、その体制がある。	○			不安なく退所出来るよう、グループホームとしては、話し合いで出来るだけの支援をしている。	
		4. 衛生・安全管理					
60	112	○ホーム内の衛生管理 ホーム内の清潔や衛生を保持している。(食品、布巾、包丁、まな板、冷蔵庫、洗濯機等)	○			ホーム内の衛生管理は、職員や入居者も利用するものだけに、手順書を作り管理体制を明確にしている。尚、前回の指摘による改善がなされていた。	
61	114	○注意の必要な物品の保管・管理 薬や洗剤、刃物等の注意の必要な物品については、保管場所、管理方法等を明確に取り決め、かつ、そのとおりに実行している。	○			薬や洗剤刃物等の管理チェックのマニュアルをつくり、安全に保管管理されている。尚、前回の指摘による改善がなされていた。	
62 ①	115	○緊急時の対応の周知・訓練 けが、転倒、窒息、意識不明、行方不明、災害等の緊急事態の対応策のマニュアルがあり、すべての職員が内容を熟知し、災害時の訓練を実施している。	○			近い将来想定される宮城沖地震や火災など緊急時に対し、きめこまかなマニュアルはあるが、夜勤の1人勤務の時に発生しても冷静に対応出来るか心配である。	マニュアルも入居者個人個人を対照に見直されているが、夜間を想定した避難訓練等も、定期的に継続してお願いしたい。
62 ②	116	○事故の報告書と活用 けが、転倒、窒息、意識不明、行方不明等の緊急事態が発生した場合、事故報告をまとめており、サービスの改善につなげている。(再発防止の話しあい、今後に活かす意義づけ等)	○			事故については、ヒヤリハットも含めて記録されている。当事者も含めて皆で話し合いをする事によって、疑似体験として事故防止策等を共有している。	
内部の運営体制 11項目中 計			10	1	0		
		6.相談・苦情への対応					
64	119	○相談・苦情受付の明示 相談や苦情を受け入れるホーム側の窓口及び職員が明確であり、入居者及び家族にその利用の仕方を文書と口頭で繰り返し伝えている。	○			相談や苦情は、サービスの質の向上にとって貴重な情報でもある。入居者や家族に対し繰り返し説明をし、話し易い雰囲気を作って頂きたい。	グループホームの担当者や市、国民健康保険団体連合会だけでなく、気軽に話し易い第三者委員等も明示し周知して頂きたい。
情報・相談・苦情 1項目中 計			0	1	0		

項目番号		項目	0 いる	要 改善	評価 不能	判断した理由や根拠	改善すべき点等の特記事項
外部	自己						
7. ホームと家族との交流							
65	122	○家族の意見や要望を引き出す働きかけ 家族が、気がかりなことや、意見、希望を職員に気軽に伝えたり相談したりできるように、面会時の声かけ、定期的連絡等を積極的に行っている。	○			「家族の要望は大体聞いて頂いている。今は特に気になる事は無く、むしろホームの方からいろいろ提案され相談しています。」 (家族アンケートより引用)	
66	123	○家族への日常の様子に関する情報提供 家族に、入居者の暮らしぶりや日常の様子を定期的、具体的に伝えている。「たより」の発行や行事ビデオの上映、写真の送付等)	○			「定期的に郵便で暮らしの様子(写真入)や購入物やレシートの内容なども連絡して頂いている。」 (家族アンケートより引用)	
67	126	○入居者の金銭管理 入居者が金銭の管理ができない場合には、その代替方法を家族と相談の上定めており、家族に定期的にその出納を明らかにしている。	○			「毎月の収支報告もあり、買物等の変更がある時は必ず相談があり安心しております。」 (家族アンケートより引用)	
ホームと家族との交流 3項目中 計			3	0	0		
8. ホームと地域との交流							
68	127	○市町村との関わり 市町村との連絡を密にとり、家族介護教室等の市町村事業を積極的に受託している。		○		より地域に開かれたホームとして、行政とのパートナーシップがこれからの課題です。地域の認知症の在宅ケアの拠点として積極的な関わりを期待したい。	運営推進会議等を通して、情報の交流をしながら具体的な連携をお願いしたい。
69	130	○地域の人達との交流の促進 地域の人達が、遊びに来たり立ち寄ってくれたりするよう取り組んでいる。	○			「エコプロジェクト」活動として、道路や公園のごみ拾いをしながら声掛けをしたり、夏休みには小学校の生徒が遊びに来て交流をしている。地域の方々が気軽に立ち寄れる様に一層の努力をお願いしたい。	
70	132	○周辺施設等の理解・協力への働きかけ 入居者の生活の安定や拡がりのために、周辺地域の諸施設から協力を得ることができるよう、理解を拡げる働きかけを行っている。(商店、福祉施設、警察、消防、文化教育施設等)	○			買物、外食、散歩の外出や文化施設での催し物にも出来るだけ参加出来るように、いろいろ協力を頂いている。又、何かの時には協力して頂ける様警察にもお願いしている。	
71	133	○ホーム機能の地域への還元 ホームの機能を、入居者のケアに配慮しつつ地域に開放している。(認知症の理解や関わり方についての相談対応・教室の開催、家族・ボランティア等の見学・研修の受入れ等)	○			出来るだけ地域に開放し、見学やボランティアを受け入れている。今まで以上に入居者に配慮しながらホーム機能の地域への還元をお願いしたい。	
ホームと地域との交流 4項目中 計			3	1	0		